

講演会

岩手県釜石市 三陸ひとつなぎ自然学校

震災から 復興活動の歩み

く
い
や
ま
社
協
だ
よ
り

講演会 -岩手県釜石市 東日本大震災から5年-
震災から復興活動の歩み

主催：釜石ボランティア連絡協議会 共催：釜石社会福祉協議会



2016.10.1 発行
第104号

- 講演会「東日本大震災から5年
岩手県釜石市復興活動の歩み」…2
- 夏休み体験ボランティア……………2、3
- 愛らぶ活動事業のご案内……………3
- お知らせ等……………4

9/15、ボランティア連絡協議会（山下妙子
会長）は、会員研修会を兼ねた講演会を開催し
ました。

講師は岩手県釜石市で復興活動をされている
一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校の伊藤聡
代表理事をお招きし、「東日本大震災から5年
震災から復興活動の歩み」と題して、ご講演
いただきました。（詳細は2ページへ）

震災から復興活動の歩み

〜岩手県釜石市一般社団法人
三陸ひとつなぎ自然学校の取り組み〜



ボランティア
連絡協議会と伊藤藤さんとの繋がりは、平成24年10月8〜11日の3泊4日で、岩手県の釜石市でボランティア活動をした際に、活動場所の調整、被災時の「釜石の奇跡」・「釜石の悲劇」のガイド等の協力をいただいたことにはさかのぼります。

その後、被災から3年が経過した平成26年4月12日に今回のように栗山に連れられ、ご講演いただいたおられますので、今回で2回目の来町となります。

講演では、釜石市の復興状況や今後の復興計画、「さんつな」の活動内容などをお話しいただきました。

また、平成24年に支援活動をした際に、札幌市西区社協のボランティアバス参加者から依頼された「はまなすの植樹」は、その後約4年が経過し、力強く成長した姿で紹介されました。

伊藤さんは、今回の台風10号では、釜石市も被災していることを話され、市外からすぐに駆けつけ



植樹した
ハマナスの今



てくれた災害ボランティアさん、そして、災害ボランティアさんの活動する姿に勇気や力をもらった市民の方が活動に参加（震災前では考えられない変化）してくれ、生活再建に繋げる復興活動がスムーズになり、変化しつつある現状また、現在は「地域のために立ち上がり、挑戦する人が多いまち」を目指し、たくましく進んでいくことを目指しています。

社協は、学校の夏休み期間に福祉活動を体験することで、福祉への理解を深めることを目的に体験ボランティアを開催しました。

栗山中学校、栗山高校から8名（延べ22名）が、ガーデンハウスくりやま・栗山いちい保育園・ペットボトルキャップ、リングブルの選別作業の3つのメニューを体験しました。



私は、0歳のクラスでボランティアをさせてもらい、水遊びをしたり、おもちゃで遊んだり、普段できない赤ちゃんにミルクをあげたり、ご飯をたべさせてあげるなど貴重な体験ができて良かったです。

今回のボランティアでいろいろな体験ができ、すごくためになったので、この経験を将来に繋げたいと思います。

栗山いちい保育園
栗山高校2年 山田 梓さん

私は、体験を通じて「コミュニケーションの大切さ」を学びました。

利用者さんとお話することで、自分が知りたいことが出てきたり、知らなかったことを知ることができました。

また、利用者さんから私のことについて質問をしてくださった時は、自分に興味を持っていただいていると感じ、とても嬉しかったです。

この体験で学んだことを活かして、これからの生活に役立てていきたいと思っています。

ガーデンハウスくりやま
栗山中学校3年 丸山 敬奈さん



私は、今回の体験の中で、2つのことを学びました。

1つ目は、園児とのふれ合いです。同じ目線の高さになると見える景色が違い、園児たちがどう世界にいるのかがわかりました。そして、遊びを通して「ありがとう」や「ごめんなさい」などの大事な言葉やお片付けの時の協力など、教えることが重要なのだとわかりました。

2つ目は、先生の重要性です。

私は、幼い園児たちがいるクラスを体験しましたが、遊んだり、食事を手伝ったり、オムツ替えをいたり、衣服を着せたりと園児たちの倍くらい動いていました。

また、消毒なども徹底しており、園児たちはもちろん、普段使っているおもちゃなども除菌し、細かいところまで気を配っている姿を見て、先生は園児を守り、教える大事な存在だと感じました。

貴重な体験をさせてもらい、ありがとうございました。

栗山いちい保育園
栗山高校3年 石村瑛里奈さん

愛つむ活動事業

除雪・声かけを地域の方で！

町内会・自治会が実施する地域福祉活動への助成をしています。

（地域内の1人暮らしや高齢者世帯で、協力が必要な世帯への除雪や声かけ活動）

特に自治会で、近所の方がトラクター等で除雪をされているところは、申請をされてはいいかがでしょうか？

自治会：鳩山、御園、阿野呂、円山、南角田、滝下、富士、大井分、杵臼、三日月、旭台、南学田（12自治会）

◆申請方法 申請書は社協にあります。

※事業の詳細は社協へ確認ください。

◆活動内容

・除雪（降雪時の玄関から道路まで）の支援

※なお、声かけ・見守り活動を含む

◆助成額

(1) 活動を実施する上での運営費 一律5,000円/年

(2) 除雪支援活動 4,000円/1世帯

※助成限度額

50,000円/年

◆平成27年度、実施している町内会・自治会

町内会：山の手、中央、道栄、松風第1、朝日（5町内会）



夏休み体験ボランティア

私は、ボランティア活動に初めて参加したのがとても優しく、会話を交えながら楽しく作業することができました。

驚いたのは、たくさんのペットボトルキャップやリングブルが回収されていること、リングブルを集めると車いすに交換されるということです。

それだけ多くの人がリサイクルに協力しているのだなと感心しました。

今回のボランティアを通じて学んだのは、無償でも人のために何かすることの大切さです。

終わって「お疲れさまでした」「ありがとうございました」と声を掛け合った時は、とても気持ちの良いものでした。

また、こういった機会があった時には、参加したいと思います。

ペットボトルキャップ、リングブルの選別作業
栗山高校2年 佐藤 香弥さん

ボランティア募集

・社会福祉協議会では、ケアラーズカフェ（ふじ団地集会所）にて運営協力をしていただける、ボランティアの方を募集しています。ぜひ、多くの方の参加をお願いします。

- ボランティアの内容：カフェに来られた方に飲物の提供、話し相手。
 - 場 所：栗山町字富士 ふじ団地集会所
 - 営業日・時間：毎週金曜日 午後1時～午後4時（3時間程度）（日曜・祝日の場合は休み）※交通費支給
- ※詳しくは、社会福祉協議会事務局（72-1322）まで電話ください。



みんなのたまり場

まちなかケアラーズカフェ 「サンタの笑顔」

・さまざまな世代の方の交流の場となっています。

カフェメニュー

- ・コーヒー
- ・アイスコーヒー
- ・アイスティー
- ・紅茶
- ・ケーキ
- ・たいやき
- ・アイスクリーム

- 場 所
栗山町中央3丁目(役場前)
いきいき交流プラザ
- 営業日・時間
月曜日～土曜日 午前9時
～午後5時（日曜・祝日は
休館）※カフェメニューの
提供 午前10時～午後4時
- 電 話
0123-72-7889

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります。

栗山町ハビリ友の会様より解散に伴う残余金を社会福祉事業へ

稲葉 幡 男様（朝日3）より母の逝去に際して

より社会福祉事業へ

吉田 礼 子様（中央3）より社会福祉事業へ

●金一封
ぼけっと・くらぶ
佐藤 弘 美様（長沼町）より社会福祉事業へ

平成28年6月21日以降平成28年9月20日までにお寄せいただいた方

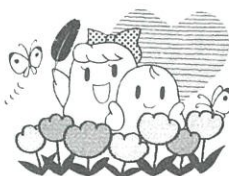
ご厚志ありがとうございます

平成28年10月1日発行

発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階
TEL (0123) 72-1322
FAX (0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp
社会福祉協議会ホームページURL
<http://www.kuriyama-shakyo.or.jp/index.html>
印刷：山東印刷株式会社



愛ちゃん と 希望くん
©中央共同事業会

社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受け作成しています

映画



上映会の開催

栗山町老人クラブ連合会（吉田輝雄会長）は、日東総業株（町指定管理業者）との共催により、映画「あん」くりやま上映会を「熊本地震災害支援チャリティー」も兼ねて開催します。

皆さんの来場をお待ちしています。

1. 上映会日程
10月3日(月) ①14時30分～16時30分
②18時00分～20時00分
2. 上映会場
くりやまカルチャープラザ「Eki」
3. 鑑賞券（販売中）
大 人 前売1,000円（当日1,500円）
小中高生 当日のみ 500円

【鑑賞券取扱所】

- ・栗山カルチャープラザ「Eki」
- ・角田農村環境改善センター
- ・南部公民館
- ・栗山町社会福祉協議会

編集後記

先日の講演会に来られた、岩手県釜石市の伊藤さんから、仮設住宅を「家」と呼ばず「仮設」と呼んで、愛着を持たない方が多い現状の話がありました。そんな中、伊藤さんは小学から高校まで仮設住宅で暮らしている高校生の1人から、「仮設住宅に親しみを持つため、マグネットに塗り絵をして、外壁に貼り付けたいけど1人ではどうやって良いかわからない」という話を聞き、その想いを形にするお手伝いをされたエピソードがありました。

1つの想いを形にする取り組みにも感謝を受けました。



▲活動に賛同していただいたたくさんの方と約6,000枚のマグネットに塗り絵をし、貼り付けることができました。